

2020年8月20日

お取引様各位

株式会社 アオテアロア

ニュージーランド産マヌカハニーから農薬検出報道について

拝啓 貴社、益々ご隆昌のこととお慶び申し上げます。
平素は、格別なるご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

8月16日にYahooに掲載されました「ニュージーランド産マヌカハニーから農薬が検出」という報道についての見解をご報告いたします。

敬具

記

今回の報道は、ニュージーランド(NZ)国有TV局(TVNZ)を情報源としているためその内容を閲覧し、弊社の製品「+Dr. Bee マヌカハニー MG150+」は、下記理由により本件には該当しないことを確認いたしました。

現在、念のために食品分析センターに分析を依頼していますので、検査結果が届き次第、ご報告いたします。

理由1. ニュージーランドを代表する特産品マヌカハニーは、農水産物や食品を統括している政府機関第一産業省(MPI)が定めた「科学的にモノフローラル(純粋)なマヌカハニーを定義する試験項目」により品質管理されています。

その内容は、MPIのサイトURLで公表されています。(弊社のHP上にて検索できます)

<https://www.mpi.govt.nz/food-safety/food-monitoring-and-surveillance/monitoring-programmes-under-the-animal-products-act/national-chemical-residues-programme/>

弊社のマヌカハニーは、MPI認定工場で製造、政府許可分析機関での全ての試験項目に合格した「純度100%マヌカ蜂蜜」になります。 政府認定工場番号：MAL01

理由2. 今回の報道で、広く利用されている農薬(ラウンドアップ)に含まれるグリホサートの検出が指摘された蜂蜜の多くは、農薬の汚染が受け易い牧場や農場に植えられたクローバーや牧草用の草花の花蜜を原料とした蜂蜜が挙げられております。またそれらの蜂蜜を混ぜ合わせて作られた「マヌカブレンドまたはマルチフローラルマヌカハニーと呼ばれる蜂蜜」からの検出も報じられました。

ニュージーランドの先住民マオリが長きにわたり利用してきた本来のマヌカハニーは、農薬と無縁な山奥に自生するマヌカ樹木の花を蜜源とした「モノフローラル(純粋な)マヌカハニー」です。

弊社の+Dr. Bee マヌカハニーはそのモノフローラルマヌカハニーであり、MPI にて「純度100%のマヌカ蜂蜜」と認定されております。報道にあるグリホサート混入マルチフローラルマヌカハニーとは全く関係ありません。

今後とも安心安全なマヌカハニーをお届けできますよう、製販一体となり全力で取り組んで参ります。

引き続き、お引き立てのほどよろしくお願い申し上げます。

以上